

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【公表番号】特表2002-529390(P2002-529390A)

【公表日】平成14年9月10日(2002.9.10)

【出願番号】特願2000-580586(P2000-580586)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

A 6 1 K 8/30 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/50

A 6 1 K 7/00 C

A 6 1 K 7/48

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月25日(2006.10.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

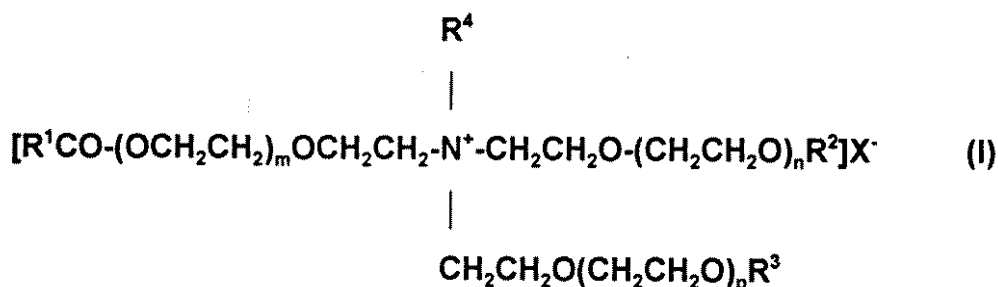
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 (a) エステルクオート、
(b) 油成分、および
(c) 部分グリセリド
を含有するカチオン性混合物の、皮膚清浄用および皮膚手入れ用製剤の製造のための使用。

【請求項2】 式(I):

【化1】

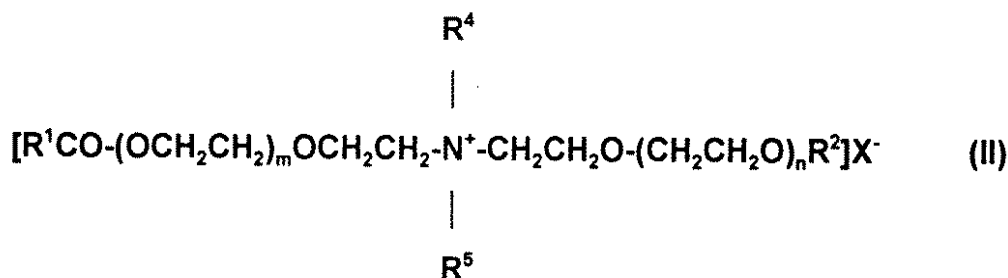


[式中、R¹COは炭素数6～22のアシル基であり、R²およびR³はそれぞれ、水素またはR¹COと同意義であり、R⁴は炭素数1～4のアルキル基または(CH₂CH₂O)_qH基であり、m、nおよびpは、いずれも0であるか、または1～12の数であり、qは1～12の数であり、Xはハライド、アルキルスルフェートまたはアルキルホスフェートである。]

で示されるエステルクオートを使用する請求項1に記載の使用。

【請求項3】 式(II):

【化2】

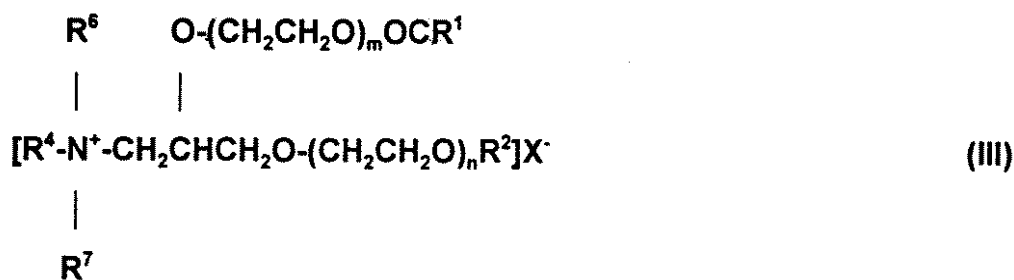


[式中、 R^1CO は炭素数6～22のアシル基であり、 R^2 は水素または R^1CO と同意義であり、 R^4 および R^5 はそれぞれ、炭素数1～4のアルキル基であり、 m および n は、いずれも0であるか、または1～12の数であり、 X はハライド、アルキルスルフェートまたはアルキルホスフェートである。]

で示されるエステルクォートを使用する請求項1に記載の使用。

【請求項4】 式(III):

【化3】



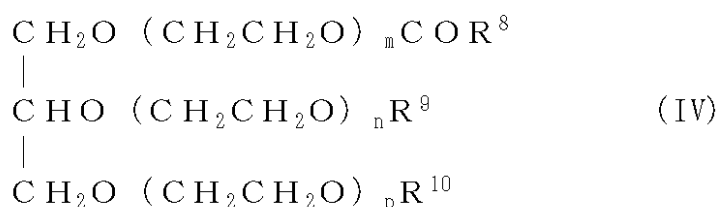
[式中、 R^1CO は炭素数6～22のアシル基であり、 R^2 は水素または R^1CO と同意義であり、 R^4 、 R^6 および R^7 はそれぞれ、炭素数1～4のアルキル基であり、 m および n は、いずれも0であるか、または1～12の数であり、 X はハライド、アルキルスルフェートまたはアルキルホスフェートである。]

で示されるエステルクォートを使用する請求項1に記載の使用。

【請求項5】 炭素数6～18（好ましくは8～10）の脂肪アルコールから誘導するゲルベアルコール、直鎖 C_{6-22} 脂肪酸と直鎖 C_{6-22} 脂肪アルコールとのエステル、分枝状 C_{6-13} カルボン酸と直鎖 C_{6-22} 脂肪アルコールとのエステル、直鎖 C_{6-22} 脂肪酸と分枝状アルコール（とりわけ2-エチルヘキサノール）とのエステル、ヒドロキシカルボン酸と直鎖もしくは分枝状 C_{6-22} 脂肪アルコールとのエステル、直鎖および/または分枝状脂肪酸と多価アルコールおよび/またはゲルベアルコールとのエステル、 C_{6-10} 脂肪酸トリグリセリド、 C_{6-18} 脂肪酸の液体モノ-/ジ-/トリグリセリド混合物、 C_{6-22} 脂肪アルコールおよび/またはゲルベアルコールと芳香族カルボン酸とのエステル、 C_{2-12} ジカルボン酸と直鎖もしくは分枝状 C_{1-22} アルコールまたはヒドロキシ基数2～6の C_{2-10} ポリオールとのエステル、植物油、分枝状第一級アルコール、置換シクロヘキサン、直鎖および分枝状 C_{6-22} 脂肪アルコールカーボネート、ゲルベカーボネート、安息香酸と直鎖および/または分枝状 C_{6-22} アルコールとのエステル、直鎖もしくは分枝状の対称もしくは非対称ジアルキルエーテル（各アルキル基の炭素数6～22）、エポキシ化脂肪酸エステルのポリオールによる開環生成物、シリコン油、および/または脂肪族もしくはナフテン族炭化水素から成る群から選択する油成分を使用する請求項1～4のいずれかに記載の使用。

【請求項6】 式(IV):

【化4】



[式中、 R^8CO は炭素数6～22の直鎖または分枝状、飽和および/または不飽和アシル基であり、 R^9 および R^{10} はそれぞれ、 R^8CO と同意義であるか、またはOHであり、 $(m+n+p)$ の合計は0または1～100の数であり、ただし、2個の置換基 R^9 および R^{10} の少なくとも一方はOHである。]

で示される部分グリセリドを使用する請求項1～5のいずれかに記載の使用。

【請求項7】 場合によりエトキシル化したトリグリセリドとアルカノールアミンとをエステル交換し、次いでその反応混合物をアルキル化することによって直接得られるエステルコートと部分グリセリドとの混合物を使用する請求項1～6のいずれかに記載の使用。

【請求項8】 (a) エステルコート0.1～25重量%、

(b) 油成分0.5～90重量%、および

(c) 部分グリセリド0.1～75重量%

を、水および場合により他の成分と合わせて全量100重量%とする量で使用する請求項1～7のいずれかに記載の使用。